

「高崎プライド」～心と形を整える～

令和2年8月28日（金） NO14 文責 木下 文秋

コロナ対策についての情報提供です

市の校長会でコロナ対策について情報提供がありましたのでお知らせします。

①手洗いのススメ（感染疫学的に以下のことが証明されています）

水とハンドソープでウイルスは減らすことができる！（皆さん 手洗いを意識しよう！）

手洗いなしの場合約100万個のウイルスが付着している。（触ったその手で感染します！）

○流水で15秒すすぎをする→1/100にウイルスは減る

○ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎをする→1/1万に減る

○ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎをするを2セット→1/100万に減る

手洗いの6つのタイミング（こんなときは必ず手を洗おう！）

○外から教室に入るとき ○咳やくしゃみ鼻をかんだとき ○給食の前後

○掃除の後 ○トイレの後 ○共有のものを触ったとき

②マスクについては国のマニュアルに変更がみられる

（変更前）基本的には常時マスクを着用することが望ましい

（変更後）身体的距離が十分とれないときには、マスクを着用すべき

これまでマスクは必須アイテムであったが、2m程度の距離がとれている時はその必要はないというスタンスに変更。周囲に誰もいない時は無理してマスクをする必要はない。マスクを義務付けられるのは、密になる教室など相手との距離の確保ができない時である。また、気温、湿度、暑さ指数（WBGT）が高く熱中症などの健康被害の恐れがある場合もマスクには注意すべき。体育の授業も熱中症への対応を優先するため不要となる。

③集団感染のリスクへの対応

これまで実際に感染が起きた場所は様々（例えば劇場や接待を伴う飲食店など）であるが、それらに共通する条件、すなわち感染リスクが高まった環境は「三密」と「大声」である。学校においても「三密」「大声」には十分注意。なお、感染リスクはゼロにはならないことを受け入れて可能な限りリスクを軽減することが重要。また、児童生徒の感染経路は家庭内感染が最多であることを認識し、家庭にウイルスを持ち込まない努力を。さらに、学校や家庭でも各自が改めて密を避けることや、意識して手洗いをを行うことが極めて重要となる。

*ご家族の中で発熱等があり、不安を感じ、場合は遠慮なく学校にお電話ください。